

# 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

|      |                     |       |            |
|------|---------------------|-------|------------|
| 事業所名 | グループホーム 和らぎ・歓び      |       |            |
| 所在地  | 宇部市大字妻崎開作宇崎789-2467 |       |            |
| 電話番号 | 0836-45-0343        | 事業所番号 | 3570201172 |
| 法人名  | 医療法人 博愛会            |       |            |

|                  |                                                      |       |                  |
|------------------|------------------------------------------------------|-------|------------------|
| 訪問調査日            | 平成 20 年 5 月 14 日                                     | 評価確定日 | 平成 20 年 9 月 12 日 |
| 評価機関の<br>名称及び所在地 | 特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク<br>山口県山口市宮野上163-1-101 |       |                  |

## 【情報提供票より】

### (1)組織概要

|       |                   |                            |      |
|-------|-------------------|----------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 14 年 11 月 12 日 |                            |      |
| ユニット数 | 2 ユニット            | 利用定員計                      | 18 人 |
| 職員数   | 15 人              | 常勤 13 人 非常勤 2 人 (常勤換算 6 人) |      |

### (2)建物概要

|      |        |           |  |
|------|--------|-----------|--|
| 建物構造 | 木造 造り  |           |  |
|      | 2 階建ての | 1 ~ 2 階部分 |  |

### (3)利用料等 (介護保険自己負担分を除く)

|        |             |          |          |
|--------|-------------|----------|----------|
| 家賃     | 月額 36,750 円 | 敷金       | 無 円      |
| 保証金    | 無 円         | 償却の有無    | 無        |
| 食費     | 朝食          | 315 円    | 昼食 630 円 |
|        | 夕食          | 630 円    | おやつ 0 円  |
| その他の費用 | 月額          | 13,650 円 |          |
|        | 内訳          | 日常生活費    |          |

### (4)利用者の概要 ( 4 月 21 日現在)

|      |           |         |         |
|------|-----------|---------|---------|
| 利用者数 | 18 名      | 男性 2 名  | 女性 16 名 |
|      | 要介護 1     | 4       | 要介護 4 3 |
|      | 要介護 2     | 8       | 要介護 5 1 |
|      | 要介護 3     | 2       | 要支援 2 0 |
| 年齢   | 平均 86.9 歳 | 最低 76 歳 | 最高 99 歳 |

### (5)協力医療機関

|             |                               |
|-------------|-------------------------------|
| 協力医療<br>機関名 | 医科 宇部記念病院 小野田心和園<br>歯科 宇部記念病院 |
|-------------|-------------------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

### (優れている点)

木造住宅で各ユニットに多目的ホールやウッドデッキがあり、利用者の居場所が多数あります。共用空間や居室の窓は大きく、周辺花壇の花や木々で季節も感じることができます。毎日、3食手作りの食事を大切にすると共に、好物や食べやすさ等にも気遣いが伺えます。また、山口県宅老所・グループホーム連絡会の研修に参加すると共に、市内の他のグループホームとの勉強会、情報交換、系列のグループホームとの交流、情報交換を通じて、サービスの質の向上に取り組んでいます。

### (特徴的な取組等)

心肺停止、誤嚥、窒息等、法人の内部研修に参加すると共に、ヒヤリはっと・事故報告の記録、リスクマネジメント会議での検討、事故発生、発見時のフローチャート等、一人ひとりの状態に応じた事故防止に努められてます

## 【重点項目への取組状況】

### (前回の評価結果に対するその後の取組状況)

地域向けホームだよりを配布して啓発に努めると共に、運営推進会議のメンバーの地域の方々の参加や第三者委員の選任について、事務長、職員間で検討中です。

### (今回の自己評価の取組状況)

全職員に自己評価表をコピーして渡した後に、各ユニット毎に、毎月のミーティングで話し合い、管理者、計画作成担当者がまとめ記入しています。話し合いの中から、支援の振り返りやサービスの質の向上に取り組むための努力をしています。

### (運営推進会議の取組状況)

2ヶ月に1回の開催で、メンバーは自治会長、介護保険課職員、市介護相談員、家族、老人保健施設の事務長、管理者、職員で評価の報告、事故防止、身体拘束、行事報告、火災、災害等について意見交換をしています。

### (家族との連携状況)

ホームだより利用者一人ひとりの様子を知らせる欄や行事予定、写真の掲載等、家族に日常の状況が良くわかるように作成、送付されています。来訪時には金銭出納簿の確認や要望等を聞いています。また、運営推進会議やクリスマス会等、家族に参加していただく行事はハガキで案内しています。

### (地域との連携状況)

校区の夏祭り、利用者の地元の敬老会への参加、散歩時の挨拶、中学生との交流等、地域との関わりを深めています。また、福祉大学の学生、リハビリ関係者、ホームヘルパー等の実習生を受け入れています。近所のスーパーに買い物に出向き顔馴染みになり、気軽に声をかけて貰っています。施設内の花壇の見学に来られる方もあります。

# 評価結果

| 項目                    |                                                                                                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                     | ○印（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------|
| 理念に基づく運営              |                                                                                                |                                                                                     |                  |                                  |
| 1. 理念の共有              |                                                                                                |                                                                                     |                  |                                  |
| 1<br>(1)              | ○ <u>地域密着型サービスとしての理念</u><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。                | 法人の基本方針を理念として、ホームだよりに記載したり、掲示しているが、地域密着型としてのグループホーム独自の理念を作り上げているとはいえない。             | ○                | ・地域密着型サービスとしての理念の検討              |
| 2<br>(2)              | ○ <u>理念の共有と日々の取り組み</u><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。                                   | 掲示し、ミーティング時に復唱して、ケアについての話し合いをしている。                                                  |                  |                                  |
| 2. 地域との支えあい           |                                                                                                |                                                                                     |                  |                                  |
| 3<br>(7)              | ○ <u>地域とのつきあい</u><br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。             | 校区の夏祭りに参加、散歩時の挨拶や中学生との交流、実習生の受け入れ等で地域との関わりを深めている。買い物に出向くスーパーでは、気軽に声をかけて貰っている。       |                  |                                  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |                                                                                                |                                                                                     |                  |                                  |
| 4<br>(9)              | ○ <u>評価の意義の理解と活用</u><br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。               | 自己評価表をコピーして全職員に配布後、各ユニット毎に毎朝のミーティングで話し合い、管理者等がまとめ記入する。ケアの振り返りとして取り組んでいる。            |                  |                                  |
| 5<br>(10)             | ○ <u>運営推進会議を活かした取り組み</u><br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスに活かしている。 | 自治会長、介護保険課職員、市介護相談員、施設事務局長、管理者、職員、家族で2ヶ月に1回開催している。評価の報告、行事報告、事故防止、火災等について意見交換をしている。 |                  |                                  |
| 6<br>(11)             | ○ <u>市町との連携</u><br>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。                    | 市介護保険課、市介護相談員と情報を交換をすると共に、研修の情報提供や利用者の意見要望を聞いて貰い、質の向上に活かす取り組みをしている。                 |                  |                                  |

| 項目             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                      | ○印（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------|
| 4. 理念を実践する為の体制 |                                                                                                                                      |                  |                                  |
| 7<br>(16)      | <b>○家族等への報告</b><br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。                                                      |                  |                                  |
| 8<br>(18)      | <b>○運営に関する家族等意見の反映</b><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させているとともに、相談や苦情を受け付ける窓口及び職員、第三者委員や外部機関を明示し、苦情処理の手続きを明確に定めている。 | ○                | ・第三者委員の検討                        |
| 9<br>(20)      | <b>○柔軟な対応に向けた勤務調整</b><br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう夜間を含め必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。                                          |                  |                                  |
| 10<br>(21)     | <b>○職員の異動等による影響への配慮</b><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、変わる場合は利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。                          |                  |                                  |
| 5. 人材の育成と支援    |                                                                                                                                      |                  |                                  |
| 11<br>(22)     | <b>○職員を育てる取り組み</b><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。                                      |                  |                                  |
| 12<br>(24)     | <b>○同業者との交流を通じた向上</b><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。                            |                  |                                  |

| 項目                                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                  | ○印（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------|
| . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援<br>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 |                                                                                                                  |                  |                                  |
| 13<br>(31)                                       | <b>○馴染みながらのサービス利用</b><br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 |                  |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援                        |                                                                                                                  |                  |                                  |
| 14<br>(32)                                       | <b>○本人と共に過ごし支えあう関係</b><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。                         |                  |                                  |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント<br>1. 一人ひとりの把握        |                                                                                                                  |                  |                                  |
| 15<br>(38)                                       | <b>○思いや意向の把握</b><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。                                             |                  |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し                   |                                                                                                                  |                  |                                  |
| 16<br>(41)                                       | <b>○チームで作る利用者本位の介護計画</b><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。            |                  |                                  |
| 17<br>(42)                                       | <b>○現状に即した介護計画の見直し</b><br>介護計画の期間に応じて見直しを行なうとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。      |                  |                                  |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援                                |                                                                                                                  |                  |                                  |
| 18<br>(44)                                       | <b>○事業所の多機能性を活かした支援</b><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。                                        |                  |                                  |

| 項目                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                     | ○印（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働                                |                                                                                                     |                  |                                  |
| 19<br>(49)                                                 | <b>○かかりつけ医の受診支援</b><br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。              |                  |                                  |
| 20<br>(53)                                                 | <b>○重度化や終末期に向けた方針の共有</b><br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。 |                  |                                  |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援<br>1. その人らしい暮らしの支援<br>(1) 一人ひとりの尊重 |                                                                                                     |                  |                                  |
| 21<br>(56)                                                 | <b>○プライバシーの確保の徹底</b><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。                          |                  |                                  |
| 22<br>(59)                                                 | <b>○日々のその人らしい暮らし</b><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。            |                  |                                  |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援                              |                                                                                                     |                  |                                  |
| 23<br>(61)                                                 | <b>○食事を楽しむことのできる支援</b><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。                |                  |                                  |
| 24<br>(64)                                                 | <b>○入浴を楽しむことができる支援</b><br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。               |                  |                                  |

| 項目                            |                                                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                     | ○印（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------|
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |                                                                                                                              |                                                                                     |                  |                                  |
| 25<br>(66)                    | <b>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</b><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした活躍できる場面づくり、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。                              | 生活歴を活かした習字、編み物、読書などの趣味を活かした支援や、洗濯物たたみ、花壇の水やり、散歩、買い物、ドライブなど、張り合いや気晴らしの支援をしている。       |                  |                                  |
| 26<br>(68)                    | <b>○日常的な外出支援</b><br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。                                                        | 花見(桜、バラ、紅葉等)、公園の散策や落語会、家族と温泉に出かけるなど、希望を聞いて出かける支援をしている。また、他の施設に入所している夫の所に出向く支援もしている。 |                  |                                  |
| (4) 安心と安全を支える支援               |                                                                                                                              |                                                                                     |                  |                                  |
| 27<br>(74)                    | <b>○身体拘束をしないケアの実践</b><br>運営者及び全ての職員が、「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び言葉や薬による拘束(スピーチロックやドラッグロック)を正しく理解しており、抑制や拘束のないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束による弊害を職員は理解し、拘束のないケアに取り組むと共に、勉強会もしている。                                          |                  |                                  |
| 28<br>(75)                    | <b>○鍵をかけないケアの実践</b><br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。                                               | 日中は鍵をかけず、利用者が外出しそうな様子を察知したら、付き添って行くなどの見守りの支援をしている。                                  |                  |                                  |
| 29<br>(78)                    | <b>○事故防止のための取り組み</b><br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。                                               | マニュアルを作成し、ヒヤリはっと・事故報告書の記録を整理して、リスクマネジメント会議で検討、家族へ報告するなど、事故防止に努めている。                 |                  |                                  |
| 30<br>(79)                    | <b>○急変や事故発生時の備え</b><br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。                                                         | マニュアルを作成、救急救命法を1回受講しているが、全ての職員が対応できるよう、応急手当の勉強会や夜勤時の緊急時対応が出来ているとはいえない。              | ○                | ・定期的訓練の検討                        |
| 31<br>(81)                    | <b>○災害対策</b><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。                                           | 年2回避難訓練(夜間想定もあり)を行い、避難場所の確認や避難方法(利用者と一緒に)を職員は把握している。                                |                  |                                  |

| 項目                         |                                                                                                                                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                             | ○印（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |                                                                                                                                            |                                                                                                                             |                  |                                  |
| 32<br>(84)                 | <b>○服薬支援</b><br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めているとともに、必要な情報は医師や薬剤師にフィードバックしている。                                | 職員は目的、副作用、用法や容量について把握している。服薬については手渡しして確認すると共に、症状の変化や必要な情報を医師にフィードバックしている                                                    |                  |                                  |
| 33<br>(86)                 | <b>○口腔内の清潔保持</b><br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力量に応じた支援をしているとともに、歯ブラシや義歯などの清掃、保管について支援している。                                           | 毎食後、一人ひとりに応じての口腔ケアの支援をすると共に、義歯の洗浄、保管、歯ブラシの管理の支援をしている。隣接の老人保健施設に、毎週歯科医の訪問があるので、検診や治療に出向いている。                                 |                  |                                  |
| 34<br>(87)                 | <b>○栄養摂取や水分確保の支援</b><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。                                                            | 食事量は表に記入、水分摂取量をおおまかに把握している(必要な人は生活記録に記入)。法人の栄養士の助言を受けて、バランスや好みを考慮した献立を作成している。                                               |                  |                                  |
| 35<br>(88)                 | <b>○感染症予防</b><br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。                                                                  | マニュアルを作成して、手洗い、うがい、ペーパータオルの使用などで日頃から予防に取り組んでいる。感染症の研修や看護師の指導も受けている。インフルエンザの予防接種も実施している。                                     |                  |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |                                                                                                                                            |                                                                                                                             |                  |                                  |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |                                                                                                                                            |                                                                                                                             |                  |                                  |
| 36<br>(91)                 | <b>○居心地のよい共用空間づくり</b><br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮するとともに、生活感や季節感など五感に働きかける様々な刺激を採り入れて、居心地よく・能動的に過ごせるような工夫をしている。 | 各ユニットごとの多目的ホール、ウッドデッキ、広い廊下、トイレの手摺りの工夫、窓は大きく陽射し除けのブラインドの工夫、玄関の格子、畳の間や居場所として置かれているソファの工夫、季節の花など生活感や季節感が感じられ、居心地よく過ごせる工夫をしている。 |                  |                                  |
| 37<br>(93)                 | <b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。                                            | 家族と話し合い、ベッド、タンス、テレビ、ぬいぐるみなど馴染みのある物を持ち込み、本人が快く過ごせる部屋作りを行なっている。煙探知機や消火器等の防災設備を整えている。                                          |                  |                                  |

# 自己評価書

## 【ホームの概要】

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 事業所名  | 和らぎ・歓び                      |
| 所在地   | 〒759 - 0204 宇部市妻崎開作678ノに467 |
| 電話番号  | ( 0 8 3 6 ) 4 5 - 0 3 4 3   |
| 開設年月日 | 平成 14 年 11 月 12 日           |

## 【サービスの特徴】

和風の馴染みやすい外観で、内部も畳や自然木を多用した心地よい住環境になっており、その中で入居の皆様がそれぞれのペースで自分らしい生活を送られている。毎食手作りで季節感も取り入れた食事や、家事、本人のできる事を尊重しながら職員と共にやっている。  
さりげない優しさでお互いが助け合う、という理念の下で入居の皆様、ご家族、職員が協力し合い入居の皆様が安心して過ごしていただける、グループホーム作りに取り組んでいます。

## 【実施ユニットの概要】 ( 4 月 20 日現在 )

|           |         |         |         |   |
|-----------|---------|---------|---------|---|
| ユニットの名称   | 和らぎ     |         |         |   |
| ユニットの定員   | 9 名     |         |         |   |
| ユニットの利用者数 | 9 名     | 男性 1 名  | 女性 8 名  |   |
|           | 要介護 1   | 2       | 要介護 4   | 2 |
|           | 要介護 2   | 2       | 要介護 5   | 1 |
|           | 要介護 3   | 2       | 要支援 2   |   |
| 年齢構成      | 平均 88 歳 | 最低 76 歳 | 最高 99 歳 |   |

## 【自己評価の実施体制】

|       |                                                                                                |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施方法  | 月に行われるミーティングの際に各ユニット職員、管理者と意見を出し合い自己評価を行った。運営者等の項目に関しては、ユニット毎の自己評価を作成したものを運営にあたる部署に目を通していただいた。 |
| 評価確定日 | 平成 年 月 日                                                                                       |

# 自己評価票

| 項目                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                         | ○印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)               |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----------------------------------------------|
| 理念に基づく運営<br>1. 理念の共有 |                                                                                         |                  |                                               |
| 1<br>(1)             | <u>○地域密着型サービスとしての理念</u><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。          | ○                | 地域を取り入れた理念を考える                                |
| 2<br>(2)             | <u>○理念の共有と日々の取り組み</u><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。                             |                  |                                               |
| 3                    | <u>○運営理念の明示</u><br>管理者は、職員に対し、事業所の運営理念を明確に示している。                                        |                  |                                               |
| 4                    | <u>○運営者や管理者の取り組み</u><br>運営者や管理者は、それぞれの権限や責任を踏まえて、サービスの質の向上に向け、職員全員と共に熱意をもって取り組んでいる。     |                  |                                               |
| 5                    | <u>○家族や地域への理念の浸透</u><br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。    | ○                | より地域の方々に理解していただけるように、こちらから発信できる行事や交流も増やしていきたい |
| 2. 地域との支えあい          |                                                                                         |                  |                                               |
| 6                    | <u>○隣近所とのつきあい</u><br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ったりしてもらえるような日常的な付き合いができるよう努めている。   |                  |                                               |
| 7<br>(3)             | <u>○地域とのつきあい</u><br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。       | ○                | 地域活動(草取り、交通安全週間の参加等)子供との交流を増やす                |
| 8                    | <u>○事業所の力を活かした地域貢献</u><br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。 | ○                |                                               |

| 項目                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                          | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                      |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |                                                                                                          |                 |                                                                      |
| 9                     | <b>○評価の意義の理解と活用</b><br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。                          |                 |                                                                      |
| 10<br>(5)             | <b>○運営推進会議を活かした取り組み</b><br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスに活かしている。            | ○               | ミーティングや議事録などにに基づき職員全員に内容を伝達し、サービスに活かすための話し合いを行う。                     |
| 11<br>(6)             | <b>○市町との連携</b><br>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。                               |                 |                                                                      |
| 12                    | <b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b><br>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用するよう支援している。 | ○               | 権利擁護に関する制度について学ぶ機会を年間のミーティングや園内研修に取り入れる。                             |
| 13                    | <b>○虐待の防止の徹底</b><br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。           |                 |                                                                      |
| 4. 理念を実践するための体制       |                                                                                                          |                 |                                                                      |
| 14                    | <b>○契約に関する説明と納得</b><br>契約を結んだり解約したりする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。                           |                 |                                                                      |
| 15                    | <b>○運営に関する利用者意見の反映</b><br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。                            |                 |                                                                      |
| 16<br>(7)             | <b>○家族等への報告</b><br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。                          |                 | 広報発行時に近況報告をそえたり、利用者の皆様の健康状態等も適切に報告を行っている。金銭出納簿作成し、来られた際に確認していただいている。 |

| 項目          |                                                                                                                                      | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                             | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------|
| 17          | <b>○情報開示要求への対応</b><br>利用者及び家族等からの情報開示の要求に応じている(開示情報の整理、開示の実務等)。                                                                      | 要請があれば応じている。                                                                |                 |                                 |
| 18<br>(8)   | <b>○運営に関する家族等意見の反映</b><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させているとともに、相談や苦情を受け付ける窓口及び職員、第三者委員や外部機関を明示し、苦情処理の手続きを明確に定めている。 | 苦情窓口、苦情用ポストを設けている。又担当職員も明示している。                                             |                 |                                 |
| 19          | <b>○運営に関する職員意見の反映</b><br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。                                                                    | 全体ミーティングなどを定期的に行い、意見や提案を聞く機会を設けている。又提案も起案書であげるなどして職員の意見が反映できるような取り組みを行っている。 |                 |                                 |
| 20<br>(9)   | <b>○柔軟な対応に向けた勤務調整</b><br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、夜間を含め必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。                                         | どの時間帯にも柔軟に対応できるよう勤務の調整を行っている。                                               |                 |                                 |
| 21<br>(10)  | <b>○職員の異動等による影響への配慮</b><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。                         | 利用者が馴染みの関係が保てる様に、スタッフが協力し合い、異動や離職を抑える努力を行っている。                              |                 |                                 |
| 5. 人材の育成と支援 |                                                                                                                                      |                                                                             |                 |                                 |
| 22<br>(11)  | <b>○職員を育てる取り組み</b><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。                                      | 法人内外の研修にも積極的に参加し、ミーティング時に伝達講習等行い、職員を育てる取り組みを行っている                           |                 |                                 |
| 23          | <b>○職員配置への取り組み</b><br>多様な資質(年代、性別、経験等)をもった職員を配置することにより、多様な利用者の暮らしに対応している。                                                            | 年代、経験なども様々な職員配置になっており、それぞれの意見を取り入れながら対応に活かしている。                             |                 |                                 |
| 24<br>(12)  | <b>○同業者との交流を通じた向上</b><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。                            | 地域のグループホーム連絡会等に参加し交流する機会を作っている。                                             |                 |                                 |

| 項目                                               |                                                                                                                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                         | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------|
| 25                                               | ○ <b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b><br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。                                         | 意見箱を設置したり、個別に管理者に話せるように努めている。                           |                 |                                  |
| 26                                               | ○ <b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b><br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。                             | ミーティングや連携会議などを通じて、職員が向上心をもって働ける取り組みを行っている。              |                 |                                  |
| 27                                               | ○ <b>職員の業務に対する適切な評価</b><br>運営者は、高い専門性やリスクを要求される管理者や職員の業務に対し、処遇等における適切な評価に努めている。                                 | 職員の業務を把握し、適切な評価に努めている。                                  |                 |                                  |
| . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援<br>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 |                                                                                                                 |                                                         |                 |                                  |
| 28                                               | ○ <b>初期に築く本人との信頼関係</b><br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。                  | 相談時に本人が求めていることを聴き、不安を取り除いた上で快く入居していただけるよう努めている。         |                 |                                  |
| 29                                               | ○ <b>初期に築く家族との信頼関係</b><br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。                       | 相談時にご家族ともしっかり話し合い、不安なく利用できるように努めている。                    |                 |                                  |
| 30                                               | ○ <b>初期対応の見極めと支援</b><br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。                               | 事業所とも連携しあい、必要とされている支援を見極め、対応している。                       |                 |                                  |
| 31<br>(13)                                       | ○ <b>馴染みながらのサービス利用</b><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 事前にお茶を飲みに来て頂いたり、他の利用者とも馴染みの関係をつくるなどしてからのサービス利用に取り組んでいる。 |                 |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援                        |                                                                                                                 |                                                         |                 |                                  |
| 32<br>(14)                                       | ○ <b>本人と共に過ごし支えあう関係</b><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。                       | 共に過ごし支えあう関係を築くために、人生の先輩として学び、お互いに助け合って生活している。           |                 |                                  |

| 項目                                       |                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                     | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------|
| 33                                       | ○ <b>本人を共に支えあう家族との関係</b><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。         | 本人を支えていく為にはご家族の力も不可欠であることを説明し皆で協力して本人を支えていく取り組みを行っている。              |                 |                                  |
| 34                                       | ○ <b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。             | 様々な家庭環境の下でも施設での生活を通じてより良い家族関係が作れるよう取り組んでいる。                         |                 |                                  |
| 35                                       | ○ <b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。               | 知人や友人との交流が継続していけるよう取り組んでいる。                                         |                 |                                  |
| 36                                       | ○ <b>利用者同士の関係の支援</b><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。              | 利用者同士の関係を把握した上で、食事の席の検討等行っている。又、入居の方が孤立されないよう、職員も必要時には入るなどして対応している。 |                 |                                  |
| 37                                       | ○ <b>関係を断ち切らない取り組み</b><br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。 | 契約が終了しても、その後の関わりも大切にして、相談に乗ったり、気軽にお越しいただけるように配慮している。                |                 |                                  |
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント<br>1. 一人ひとりの把握 |                                                                                         |                                                                     |                 |                                  |
| 38<br>(15)                               | ○ <b>思いや意向の把握</b><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。                   | 本人が日課としている（刺繍、家人との面会など）様々な生活を把握し、対応している。                            |                 |                                  |
| 39                                       | ○ <b>これまでの暮らしの把握</b><br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。               | センター方式等利用し、事前に本人、家族、以前のサービス利用事業所から情報を集め、サービス利用の経過時の把握に努めている。        |                 |                                  |
| 40                                       | ○ <b>暮らしの現状の把握</b><br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。                     | 個々の生活状態を把握している。                                                     |                 |                                  |

| 項目                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                             | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------|
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |                                                                                                             |                 |                                  |
| 41<br>(16)                     | <b>○チームで作る利用者本位の介護計画</b><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。       |                 |                                  |
| 42<br>(17)                     | <b>○現状に即した介護計画の見直し</b><br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | ○               | 変化が生じた場合の話し合いがよりスムーズになる。         |
| 43                             | <b>○個別の記録と実践への反映</b><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。                         |                 |                                  |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              |                                                                                                             |                 |                                  |
| 44<br>(18)                     | <b>○事業所の多機能性を活かした支援</b><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。                                   |                 |                                  |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    |                                                                                                             |                 |                                  |
| 45                             | <b>○地域資源との協働</b><br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。                                  |                 |                                  |
| 46                             | <b>○事業所の地域への開放</b><br>事業所の機能を、利用者のケアに配慮しつつ地域に開放している（認知症の理解や関わり方についての相談対応・教室の開催、家族・ボランティア等の見学・研修の受け入れ等）。     | ○               | 教室の開催・園内研修                       |
| 47                             | <b>○他のサービスの活用支援</b><br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他の介護支援専門員やサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。                       |                 |                                  |

| 項目         |                                                                                                                                        | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                 | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------|
| 48         | <b>○地域包括支援センターとの協働</b><br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。                                                 | 地域包括支援センターとの協働は行っている。                                           |                 |                                  |
| 49<br>(19) | <b>○かかりつけ医の受診支援</b><br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。                                                | 本人と家族の希望に基づきかかりつけ医とも事業所が連絡を取りながら適切な医療が受けられるようにしている。             |                 |                                  |
| 50         | <b>○認知症の専門医等の受診支援</b><br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。                                               | 協力病院として精神科の病院があり、相談・受診等行っている。                                   |                 |                                  |
| 51         | <b>○看護職との協働</b><br>利用者をよく知る看護職員（母体施設の看護師等）あるいは地域の看護職（かかりつけ医の看護職、保健センターの保険師等）と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。                           | 月2回の訪問看護が入り、その際に利用者の健康状態の相談等気軽にできる様になっている。                      |                 |                                  |
| 52         | <b>○早期退院に向けた医療機関との協働</b><br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。                       | 入院した際には、医師・家族と相談し本人がグループホームでの生活に戻る様に努めている。                      |                 |                                  |
| 53<br>(20) | <b>○重度化や終末期に向けた方針の共有</b><br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。                                    | ご家族の意向に沿える様にかかりつけ医や訪問看護等と話し合う方針を共有している。                         |                 |                                  |
| 54         | <b>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</b><br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。 | かかりつけ医、訪問看護と話し合い、事業所としてできること、協力関係を持ち、ご本人・ご家族の希望に沿える様検討・準備をしている。 |                 |                                  |
| 55         | <b>○住み替え時の協働によるダメージの防止</b><br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                        | 移り住むダメージを防ぐため、ご家族・ケア関係者と情報交換や話し合いをおこなっている。                      |                 |                                  |

| 項目                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                      | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                        |
|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------|
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援<br>1. その人らしい暮らしの支援<br>(1) 一人ひとりの尊重 |                                                                                                      |                 |                                                         |
| 56<br>(21)                                                 | ○ <b>プライバシーの確保の徹底</b><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。                          | ○               | 接遇トレーニングの実施。                                            |
| 57                                                         | ○ <b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b><br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。      |                 |                                                         |
| 58                                                         | ○ <b>“できる力”を大切にしたい家事への支援</b><br>家事(調理、配膳、掃除、洗濯、持ち物の整理や補充、日用品や好みの物などの買い物等)は、利用者の“できる力”を大切にしながら支援している。 |                 |                                                         |
| 59<br>(22)                                                 | ○ <b>日々のその人らしい暮らし</b><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。            |                 |                                                         |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援                              |                                                                                                      |                 |                                                         |
| 60                                                         | ○ <b>身だしなみやおしゃれの支援</b><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。                       |                 |                                                         |
| 61<br>(23)                                                 | ○ <b>食事を楽しむことのできる支援</b><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。                |                 | 出来る下ごしらえを一緒にしていく。                                       |
| 62                                                         | ○ <b>本人の嗜好の支援</b><br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて、日常的に楽しめるよう支援している。                      |                 |                                                         |
| 63                                                         | ○ <b>気持ちのよい排泄の支援</b><br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。                  |                 | 排泄表のチェック、記事等でパターンを把握し、本人が気持ちよく排泄できるようおむつ外し等排泄の改善に努めている。 |

| 項目                            |                                                                                                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                  | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------|
| 64<br>(24)                    | <b>○入浴を楽しむことができる支援</b><br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。           | 本人の体調等も把握し希望に沿える入浴を行っている。                        |                 |                                  |
| 65                            | <b>○安眠休息の支援</b><br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり、眠れるよう支援している。                            | 不安なく落ち着いて眠れる様不眠時には付き添ったり、温かい飲み物をお出しする等して支援している。  |                 |                                  |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |                                                                                                 |                                                  |                 |                                  |
| 66<br>(25)                    | <b>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</b><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした活躍できる場面づくり、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 散歩・外出・ドライブ・買い物等、様々な場面で一人ひとりが楽しめる場面を作っている。        |                 |                                  |
| 67                            | <b>○お金の所持や使うことの支援</b><br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や状態に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。        | 御本人の希望やご家族とも話をし一人ひとりの状態に応じた金銭管理をおこなっている。         |                 |                                  |
| 68<br>(26)                    | <b>○日常的な外出支援</b><br>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。                            | 買い物への支援や家人に面会に行かれる方への支援、散歩等行っている。                |                 |                                  |
| 69                            | <b>○普段行けない場所への外出支援</b><br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。        | 本人の希望を聞きご家族と温泉へ出掛けたり、他の利用者と外出(ドライブ)等行っている。       |                 |                                  |
| 70                            | <b>○電話や手紙の支援</b><br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。                                  | 家族や大切な人とのつながりが継続できるよう電話・手紙のやり取りも行っている。           |                 |                                  |
| 71                            | <b>○家族や馴染みの人の訪問支援</b><br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。                   | 家庭的な雰囲気の中で気軽に訪問できお茶等お出ししながら居心地よく過ごしていただける様にしている。 |                 |                                  |
| 72                            | <b>○家族の付き添いへの支援</b><br>利用者や家族が家族の付き添いを希望したときは、居室への宿泊も含め適切に対応している。                               | 宿泊ができる様に部屋も準備しており、いつでも対応できるようにしている。              |                 |                                  |

| 項目         |                                                                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                        | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------|
| 73         | <b>○家族が参加しやすい行事の実践</b><br>年間の行事計画の中に、家族が参加しやすい行事を取り入れ、家族の参加を呼びかけている。                                                        | 御本人の誕生日会やクリスマス会等積極的に声を掛け参加していただいている。                                   |                 |                                  |
| 74<br>(27) | <b>○身体拘束をしないケアの実践</b><br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び言葉や薬による拘束(スピーチロックやドラッグロック)を正しく理解しており、抑制や拘束のないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束を行わないという理念の下、全ての職員が研修等でそれらへの行為を理解している。                             | ○               | スピーチロック、ドラッグロックに関する研修を行う。        |
| 75<br>(28) | <b>○鍵をかけないケアの実践</b><br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。                                              | 日中は鍵をかけず、利用者が自由に出入りでき束縛されないケアを実践している。安全面に関してのリスク等もご家族と話し合い理解をいただいている。  |                 |                                  |
| 76         | <b>○利用者の安全確認</b><br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。                                                       | 本人のプライバシーに配慮した上で所在確認・見守りを行っている。                                        |                 |                                  |
| 77         | <b>○注意の必要な物品の保管・管理</b><br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。                                                 | はさみを持っている方もおられるが、マニュアルを作成し、保管場所・管理を取り決めている。                            |                 |                                  |
| 78<br>(29) | <b>○事故防止のための取り組み</b><br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。                                              | マニュアルを作成し事故防止に取り組み又、訓練も行っているがいざという時に対応できる様、定期的に訓練を実施したい。               | ○               | 事故防止に関する訓練の実施。                   |
| 79<br>(30) | <b>○急変や事故発生時の備え</b><br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。                                                        | マニュアルを作成しているが定期的に訓練は行えていない。                                            |                 |                                  |
| 80         | <b>○再発防止への取り組み</b><br>緊急事態が発生した場合や、発生の可能性が見られた時には、事故報告書や”ヒヤリはっと報告書”等をまとめるとともに、発生防止のための改善策を講じている。                            | ひやりはっと報告書の重要性をスタッフ全員が理解し、リスクマネジメント委員会で取り上げたり、ミーティングで発生防止のための改善案を講じている。 |                 |                                  |

| 項目                         |                                                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                       | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------|
| 81<br>(31)                 | <b>○災害対策</b><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。                          | 避難訓練を行い避難場所の確認や避難方法を職員が把握している。又、運営推進会議時に地域の方々と災害時に協力していただける様に働きかけている。 |                 |                                 |
| 82                         | <b>○リスク対応に関する家族等との話し合い</b><br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。                        | 本人が自分らしい生活を送っていただく為、それに伴うリスクをご家族に説明し、対応等話し合っている。                      |                 |                                 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |                                                                                                             |                                                                       |                 |                                 |
| 83                         | <b>○体調変化の早期発見と対応</b><br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。                                  | 体調に関して記事にも詳細に記録し情報が共有でき対応できるよう取り組んでいる。                                |                 |                                 |
| 84<br>(32)                 | <b>○服薬支援</b><br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めているとともに、必要な情報は医師や薬剤師にフィードバックしている。 | スタッフ一人ひとりが内服の管理に関わり目的・副作用・用法・用量について理解できるよう取り組んでいる。                    |                 |                                 |
| 85                         | <b>○便秘の予防と対応</b><br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。                                | 水分を多めに取っていただいたり、体を動かしていただいたりと便秘対策に取り組む必要な場合は、医師・御家族等と相談し、下剤の内服も行っている。 |                 |                                 |
| 86<br>(33)                 | <b>○口腔内の清潔保持</b><br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしているとともに、歯ブラシや義歯などの清掃、保管について支援している。             | 一人ひとりの力に応じて口腔ケアの実施を行っている。義歯の洗浄・保管についても入れ歯洗浄剤を使用し実施日・保管場所を取り決めて支援している。 |                 |                                 |
| 87<br>(34)                 | <b>○栄養摂取や水分確保の支援</b><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。                             | 本人が必要な量や水分を把握できる様、食事量をチェックし又、水分量の把握の必要な方もチェックを行っている。                  |                 |                                 |
| 88<br>(35)                 | <b>○感染症予防</b><br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。                                   | マニュアルを作成している。又、手洗いやうがい、消毒等も行っている。                                     |                 |                                 |
| 89                         | <b>○食材の管理</b><br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。                                  | マニュアルを作成し、それに準じた衛生管理を行っている。食品に関しても情報を得て安全に食材を選んで提供している。               |                 |                                 |

| 項目                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                             | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------|
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり<br>(1) 居心地のよい環境づくり |                                                                                                                                             |                 |                                  |
| 90                                         | ○ <b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b><br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。                                                       |                 |                                  |
| 91<br>(36)                                 | ○ <b>居心地のよい共用空間づくり</b><br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮するとともに、生活感や季節感など五感に働きかける様々な刺激を採り入れて、居心地よく・能動的に過ごせるような工夫をしている。 |                 |                                  |
| 92                                         | ○ <b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b><br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。                                                       |                 |                                  |
| 93<br>(37)                                 | ○ <b>居心地よく過ごせる居室の配慮</b><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。                                            |                 |                                  |
| 94                                         | ○ <b>換気・空調の配慮</b><br>気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。                                                    |                 |                                  |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり                    |                                                                                                                                             |                 |                                  |
| 95                                         | ○ <b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b><br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送ることができるように工夫している。                                                       |                 |                                  |
| 96                                         | ○ <b>わかる力を活かした環境づくり</b><br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。                                                                      |                 |                                  |
| 97                                         | ○ <b>建物の外周リや空間の活用</b><br>建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。                                                                              |                 |                                  |

| 項目             |                                                          | 取り組みの成果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)              |                              |
|----------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------|------------------------------|
| ・サービスの成果に関する項目 |                                                          |                                          |                              |
| 98             | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。                             | <div>○ほぼ全ての利用者の<br/>利用者の1 / 3 くらいの</div> | 利用者の2 / 3 くらいの<br>ほとんど掴んでいない |
| 99             | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。                                | <div>○毎日ある<br/>たまにある</div>               | 数日に1回程度ある<br>ほとんどない          |
| 100            | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。                                   | <div>○ほぼ全ての利用者が<br/>利用者の1 / 3 くらいが</div> | 利用者の2 / 3 くらいが<br>ほとんどいない    |
| 101            | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている。                        | <div>○ほぼ全ての利用者が<br/>利用者の1 / 3 くらいが</div> | 利用者の2 / 3 くらいが<br>ほとんどいない    |
| 102            | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。                                  | <div>○ほぼ全ての利用者が<br/>利用者の1 / 3 くらいが</div> | 利用者の2 / 3 くらいが<br>ほとんどいない    |
| 103            | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。                            | <div>○ほぼ全ての利用者が<br/>利用者の1 / 3 くらいが</div> | 利用者の2 / 3 くらいが<br>ほとんどいない    |
| 104            | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。                   | <div>○ほぼ全ての利用者が<br/>利用者の1 / 3 くらいが</div> | 利用者の2 / 3 くらいが<br>ほとんどいない    |
| 105            | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。        | <div>○ほぼ全ての家族等と<br/>家族の1 / 3 くらいと</div>  | 家族の2 / 3 くらいと<br>ほとんどできていない  |
| 106            | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。                        | <div>○ほぼ毎日のように<br/>たまに</div>             | 数日に1回程度<br>ほとんどない            |
| 107            | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 | <div>○大いに増えている<br/>あまり増えていない</div>       | 少しずつ増えている<br>全くいない           |
| 108            | 職員は、生き活きと働けている。                                          | <div>○ほぼ全ての職員が<br/>職員の1 / 3 くらいが</div>   | 職員の2 / 3 くらいが<br>ほとんどいない     |
| 109            | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。                           | <div>○ほぼ全ての利用者が<br/>利用者の1 / 3 くらいが</div> | 利用者の2 / 3 くらいが<br>ほとんどいない    |
| 110            | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。                       | <div>○ほぼ全ての家族等が<br/>家族等の1 / 3 くらいが</div> | 家族等の2 / 3 くらいが<br>ほとんどできていない |

# 自己評価書

## 【ホームの概要】

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 事業所名  | 和らぎ・歓び                      |
| 所在地   | 〒759 - 0204 宇部市妻崎開作678ノに467 |
| 電話番号  | ( 0 8 3 6 ) 4 5 - 0 3 4 3   |
| 開設年月日 | 平成 14 年 11 月 12 日           |

## 【サービスの特徴】

和風の馴染みやすい外観で、内部も畳や自然木を多用した心地よい住環境になっており、その中で入居の皆様がそれぞれのペースで自分らしい生活を送られている。毎食手作りで季節感も取り入れた食事や、家事、本人のできる事を尊重しながら職員と共にやっている。  
さりげない優しさでお互いが助け合う、という理念の下で入居の皆様、ご家族、職員が協力し合い入居の皆様が安心して過ごしていただける、グループホーム作りに取り組んでいます。

## 【実施ユニットの概要】 ( 4 月 20 日現在 )

|           |         |         |         |   |
|-----------|---------|---------|---------|---|
| ユニットの名称   | 歓び      |         |         |   |
| ユニットの定員   | 9 名     |         |         |   |
| ユニットの利用者数 | 9 名     | 男性 1 名  | 女性 8 名  |   |
|           | 要介護 1   | 2       | 要介護 4   | 2 |
|           | 要介護 2   | 2       | 要介護 5   | 1 |
|           | 要介護 3   | 2       | 要支援 2   |   |
| 年齢構成      | 平均 88 歳 | 最低 76 歳 | 最高 99 歳 |   |

## 【自己評価の実施体制】

|       |                                                                                                |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施方法  | 月に行われるミーティングの際に各ユニット職員、管理者と意見を出し合い自己評価を行った。運営者等の項目に関しては、ユニット毎の自己評価を作成したものを運営にあたる部署に目を通していただいた。 |
| 評価確定日 | 平成 年 月 日                                                                                       |

# 自己評価票

| 項目                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                         | ○印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)               |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----------------------------------------------|
| 理念に基づく運営<br>1. 理念の共有 |                                                                                         |                  |                                               |
| 1<br>(1)             | <u>○地域密着型サービスとしての理念</u><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。          | ○                | 地域を取り入れた理念を考える                                |
| 2<br>(2)             | <u>○理念の共有と日々の取り組み</u><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。                             |                  |                                               |
| 3                    | <u>○運営理念の明示</u><br>管理者は、職員に対し、事業所の運営理念を明確に示している。                                        |                  |                                               |
| 4                    | <u>○運営者や管理者の取り組み</u><br>運営者や管理者は、それぞれの権限や責任を踏まえて、サービスの質の向上に向け、職員全員と共に熱意をもって取り組んでいる。     |                  |                                               |
| 5                    | <u>○家族や地域への理念の浸透</u><br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。    | ○                | より地域の方々に理解していただけるように、こちらから発信できる行事や交流も増やしていきたい |
| 2. 地域との支えあい          |                                                                                         |                  |                                               |
| 6                    | <u>○隣近所とのつきあい</u><br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ったりしてもらえるような日常的な付き合いができるよう努めている。   |                  |                                               |
| 7<br>(3)             | <u>○地域とのつきあい</u><br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。       | ○                | 地域活動(草取り、交通安全週間の参加等)子供との交流を増やす                |
| 8                    | <u>○事業所の力を活かした地域貢献</u><br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。 | ○                |                                               |

| 項目                    |                                                                                                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                       | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                  |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------|--------------------------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |                                                                                                          |                                                                       |                 |                                                  |
| 9                     | <b>○評価の意義の理解と活用</b><br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。                          | 前回いただいた評価を活かし、より良いグループホームづくりに向けて取り組む努力をしている。                          |                 |                                                  |
| 10<br>(5)             | <b>○運営推進会議を活かした取り組み</b><br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスに活かしている。            | 評価の報告はその都度行い、地域の皆様のご意見や意見なども取り入れサービスに活かす努力はしているが、十分に活かされていない。         | ○               | ミーティングや議事録などにに基づき職員全員に内容を伝達し、サービスに活かすための話し合いを行う。 |
| 11<br>(6)             | <b>○市町との連携</b><br>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。                               | 月に一度社会福祉協議会の方が来られ情報交換を行ったりしてサービスの質の向上に取り組んでいる。                        |                 |                                                  |
| 12                    | <b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b><br>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用するよう支援している。 | 勉強会を行うなどして、学ぶ機会を持ち、必要となった方々に活用できるようにしていきたい。                           | ○               | 権利擁護に関する制度について学ぶ機会を年間のミーティングや園内研修に取り入れる。         |
| 13                    | <b>○虐待の防止の徹底</b><br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。           | 研修などに参加し、学び、常に管理者、職員が防止に努めている。                                        |                 |                                                  |
| 4. 理念を実践するための体制       |                                                                                                          |                                                                       |                 |                                                  |
| 14                    | <b>○契約に関する説明と納得</b><br>契約を結んだり解約したりする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。                           | 入居の際や退居の際、ご本人やご家族としっかり話し合う場をつくり、十分に説明し、理解や納得を得ている。                    |                 |                                                  |
| 15                    | <b>○運営に関する利用者意見の反映</b><br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。                            | 苦情窓口、苦情用ポストを設置している。又、月に一度相談員として、市役所職員と社会福祉協議会の方これ、利用者の意見等が表せる機会を設けている |                 |                                                  |
| 16<br>(7)             | <b>○家族等への報告</b><br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。                          | 広報発行時に近況報告をそえたり、利用者の皆様の健康状態等も適切に報告を行っている。金銭出納簿作成し、来られた際に確認していただいている。  |                 |                                                  |

| 項目          |                                                                                                                                      | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                             | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------|
| 17          | <b>○情報開示要求への対応</b><br>利用者及び家族等からの情報開示の要求に応じている(開示情報の整理、開示の実務等)。                                                                      | 要請があれば応じている。                                                                |                 |                                 |
| 18<br>(8)   | <b>○運営に関する家族等意見の反映</b><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させているとともに、相談や苦情を受け付ける窓口及び職員、第三者委員や外部機関を明示し、苦情処理の手続きを明確に定めている。 | 苦情窓口、苦情用ポストを設けている。又担当職員も明示している。                                             |                 |                                 |
| 19          | <b>○運営に関する職員意見の反映</b><br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。                                                                    | 全体ミーティングなどを定期的に行い、意見や提案を聞く機会を設けている。又提案も起案書であげるなどして職員の意見が反映できるような取り組みを行っている。 |                 |                                 |
| 20<br>(9)   | <b>○柔軟な対応に向けた勤務調整</b><br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、夜間を含め必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。                                         | どの時間帯にも柔軟に対応できるよう勤務の調整を行っている。                                               |                 |                                 |
| 21<br>(10)  | <b>○職員の異動等による影響への配慮</b><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。                         | 利用者が馴染みの関係が保てる様に、スタッフが協力し合い、異動や離職を抑える努力を行っている。                              |                 |                                 |
| 5. 人材の育成と支援 |                                                                                                                                      |                                                                             |                 |                                 |
| 22<br>(11)  | <b>○職員を育てる取り組み</b><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。                                      | 法人内外の研修にも積極的に参加し、ミーティング時に伝達講習等行い、職員を育てる取り組みを行っている                           |                 |                                 |
| 23          | <b>○職員配置への取り組み</b><br>多様な資質(年代、性別、経験等)をもった職員を配置することにより、多様な利用者の暮らしに対応している。                                                            | 年代、経験なども様々な職員配置になっており、それぞれの意見を取り入れながら対応に活かしている。                             |                 |                                 |
| 24<br>(12)  | <b>○同業者との交流を通じた向上</b><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。                            | 地域のグループホーム連絡会等に参加し交流する機会を作っている。                                             |                 |                                 |

| 項目                                               |                                                                                                                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                         | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------|
| 25                                               | ○ <b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b><br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。                                         | 意見箱を設置したり、個別に管理者に話せるように努めている。                           |                 |                                 |
| 26                                               | ○ <b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b><br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。                             | ミーティングや連携会議などを通じて、職員が向上心をもって働ける取り組みを行っている。              |                 |                                 |
| 27                                               | ○ <b>職員の業務に対する適切な評価</b><br>運営者は、高い専門性やリスクを要求される管理者や職員の業務に対し、処遇等における適切な評価に努めている。                                 | 職員の業務を把握し、適切な評価に努めている。                                  |                 |                                 |
| . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援<br>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 |                                                                                                                 |                                                         |                 |                                 |
| 28                                               | ○ <b>初期に築く本人との信頼関係</b><br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。                  | 相談時に本人が求めていることを聴き、不安を取り除いた上で快く入居していただけるよう努めている。         |                 |                                 |
| 29                                               | ○ <b>初期に築く家族との信頼関係</b><br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。                       | 相談時にご家族ともしっかり話し合い、不安なく利用できるように努めている。                    |                 |                                 |
| 30                                               | ○ <b>初期対応の見極めと支援</b><br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。                               | 事業所とも連携しあい、必要とされている支援を見極め、対応している。                       |                 |                                 |
| 31<br>(13)                                       | ○ <b>馴染みながらのサービス利用</b><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 事前にお茶を飲みに来て頂いたり、他の利用者とも馴染みの関係をつくるなどしてからのサービス利用に取り組んでいる。 |                 |                                 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援                        |                                                                                                                 |                                                         |                 |                                 |
| 32<br>(14)                                       | ○ <b>本人と共に過ごし支えあう関係</b><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。                       | 共に過ごし支えあう関係を築くために、人生の先輩として学び、お互いに助け合って生活している。           |                 |                                 |

| 項目                                       |                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                     | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------|
| 33                                       | ○ <b>本人を共に支えあう家族との関係</b><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。         | 本人を支えていく為にはご家族の力も不可欠であることを説明し皆で協力して本人を支えていく取り組みを行っている。              |                 |                                  |
| 34                                       | ○ <b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。             | 様々な家庭環境の下でも施設での生活を通じてより良い家族関係が作れるよう取り組んでいる。                         |                 |                                  |
| 35                                       | ○ <b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。               | 知人や友人との交流が継続していけるよう取り組んでいる。                                         |                 |                                  |
| 36                                       | ○ <b>利用者同士の関係の支援</b><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。              | 利用者同士の関係を把握した上で、食事の席の検討等行っている。又、入居の方が孤立されないよう、職員も必要時には入るなどして対応している。 |                 |                                  |
| 37                                       | ○ <b>関係を断ち切らない取り組み</b><br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。 | 契約が終了しても、その後の関わりも大切にして、相談に乗ったり、気軽にお越しいただけるように配慮している。                |                 |                                  |
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント<br>1. 一人ひとりの把握 |                                                                                         |                                                                     |                 |                                  |
| 38<br>(15)                               | ○ <b>思いや意向の把握</b><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。                   | 本人が日課としている（刺繍、家人との面会など）様々な生活を把握し、対応している。                            |                 |                                  |
| 39                                       | ○ <b>これまでの暮らしの把握</b><br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。               | センター方式等利用し、事前に本人、家族、以前のサービス利用事業所から情報を集め、サービス利用の経過時の把握に努めている。        |                 |                                  |
| 40                                       | ○ <b>暮らしの現状の把握</b><br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。                     | 個々の生活状態を把握している。                                                     |                 |                                  |

| 項目                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                             | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------|
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |                                                                                                             |                 |                                  |
| 41<br>(16)                     | <b>○チームで作る利用者本位の介護計画</b><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。       |                 |                                  |
| 42<br>(17)                     | <b>○現状に即した介護計画の見直し</b><br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | ○               | 変化が生じた場合の話し合いがよりスムーズになる。         |
| 43                             | <b>○個別の記録と実践への反映</b><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。                         |                 |                                  |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              |                                                                                                             |                 |                                  |
| 44<br>(18)                     | <b>○事業所の多機能性を活かした支援</b><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。                                   |                 |                                  |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    |                                                                                                             |                 |                                  |
| 45                             | <b>○地域資源との協働</b><br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。                                  |                 |                                  |
| 46                             | <b>○事業所の地域への開放</b><br>事業所の機能を、利用者のケアに配慮しつつ地域に開放している（認知症の理解や関わり方についての相談対応・教室の開催、家族・ボランティア等の見学・研修の受け入れ等）。     | ○               | 教室の開催・園内研修                       |
| 47                             | <b>○他のサービスの活用支援</b><br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他の介護支援専門員やサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。                       |                 |                                  |

| 項目         |                                                                                                                                        | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                 | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------|
| 48         | <b>○地域包括支援センターとの協働</b><br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。                                                 | 地域包括支援センターとの協働は行っている。                                           |                 |                                 |
| 49<br>(19) | <b>○かかりつけ医の受診支援</b><br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。                                                | 本人と家族の希望に基づきかかりつけ医とも事業所が連絡を取りながら適切な医療が受けられるようにしている。             |                 |                                 |
| 50         | <b>○認知症の専門医等の受診支援</b><br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。                                               | 協力病院として精神科の病院があり、相談・受診等行っている。                                   |                 |                                 |
| 51         | <b>○看護職との協働</b><br>利用者をよく知る看護職員（母体施設の看護師等）あるいは地域の看護職（かかりつけ医の看護職、保健センターの保険師等）と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。                           | 月2回の訪問看護が入り、その際に利用者の健康状態の相談等気軽にできる様になっている。                      |                 |                                 |
| 52         | <b>○早期退院に向けた医療機関との協働</b><br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。                       | 入院した際には、医師・家族と相談し本人がグループホームでの生活に戻る様に努めている。                      |                 |                                 |
| 53<br>(20) | <b>○重度化や終末期に向けた方針の共有</b><br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。                                    | ご家族の意向に沿える様にかかりつけ医や訪問看護等と話し合う方針を共有している。                         |                 |                                 |
| 54         | <b>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</b><br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。 | かかりつけ医、訪問看護と話し合い、事業所としてできること、協力関係を持ち、ご本人・ご家族の希望に沿える様検討・準備をしている。 |                 |                                 |
| 55         | <b>○住み替え時の協働によるダメージの防止</b><br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                        | 移り住むダメージを防ぐため、ご家族・ケア関係者と情報交換や話し合いをおこなっている。                      |                 |                                 |

| 項目                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                      | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                         |
|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------|
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援<br>1. その人らしい暮らしの支援<br>(1) 一人ひとりの尊重 |                                                                                                      |                 |                                                         |
| 56<br>(21)                                                 | ○ <b>プライバシーの確保の徹底</b><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。                          | ○               | 接遇トレーニングの実施。                                            |
| 57                                                         | ○ <b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b><br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。      |                 |                                                         |
| 58                                                         | ○ <b>“できる力”を大切にしたい家事への支援</b><br>家事(調理、配膳、掃除、洗濯、持ち物の整理や補充、日用品や好みの物などの買い物等)は、利用者の“できる力”を大切にしながら支援している。 | ○               | これからも皆様のできる力を尊重し支援していく。                                 |
| 59<br>(22)                                                 | ○ <b>日々のその人らしい暮らし</b><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。            |                 |                                                         |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援                              |                                                                                                      |                 |                                                         |
| 60                                                         | ○ <b>身だしなみやおしゃれの支援</b><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。                       |                 |                                                         |
| 61<br>(23)                                                 | ○ <b>食事を楽しむことのできる支援</b><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。                | ○               | 出来る下ごしらえを一緒に行える場面作りをより増やしていく。                           |
| 62                                                         | ○ <b>本人の嗜好の支援</b><br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて、日常的に楽しめるよう支援している。                      |                 |                                                         |
| 63                                                         | ○ <b>気持ちのよい排泄の支援</b><br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。                  |                 | 排泄表のチェック、記事等でパターンを把握し、本人が気持ちよく排泄できるようおむつ外し等排泄の改善に努めている。 |

| 項目                            |                                                                                                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                  | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------|
| 64<br>(24)                    | <b>○入浴を楽しむことができる支援</b><br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。           | 本人の体調等も把握し希望に沿える入浴を行っている。                        |                 |                                  |
| 65                            | <b>○安眠休息の支援</b><br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり、眠れるよう支援している。                            | 不安なく落ち着いて眠れる様不眠時には付き添ったり、温かい飲み物をお出しする等して支援している。  |                 |                                  |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |                                                                                                 |                                                  |                 |                                  |
| 66<br>(25)                    | <b>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</b><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした活躍できる場面づくり、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 散歩・外出・ドライブ・買い物等、様々な場面で一人ひとりが楽しめる場面を作っている。        |                 |                                  |
| 67                            | <b>○お金の所持や使うことの支援</b><br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や状態に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。        | 御本人の希望やご家族とも話をし一人ひとりの状態に応じた金銭管理をおこなっている。         |                 |                                  |
| 68<br>(26)                    | <b>○日常的な外出支援</b><br>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。                            | 買い物への支援や家人に面会に行かれる方への支援、散歩等行っている。                |                 |                                  |
| 69                            | <b>○普段行けない場所への外出支援</b><br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。        | 本人の希望を聞きご家族と温泉へ出掛けたり、他の利用者と外出(ドライブ)等行っている。       |                 |                                  |
| 70                            | <b>○電話や手紙の支援</b><br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。                                  | 家族や大切な人とのつながりが継続できるよう電話・手紙のやり取りも行っている。           |                 |                                  |
| 71                            | <b>○家族や馴染みの人の訪問支援</b><br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。                   | 家庭的な雰囲気の中で気軽に訪問できお茶等お出ししながら居心地よく過ごしていただける様にしている。 |                 |                                  |
| 72                            | <b>○家族の付き添いへの支援</b><br>利用者や家族が家族の付き添いを希望したときは、居室への宿泊も含め適切に対応している。                               | 宿泊ができる様に部屋も準備しており、いつでも対応できるようにしている。              |                 |                                  |

| 項目         |                                                                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                        | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------|
| 73         | <b>○家族が参加しやすい行事の実践</b><br>年間の行事計画の中に、家族が参加しやすい行事を取り入れ、家族の参加を呼びかけている。                                                        | 御本人の誕生日会やクリスマス会等積極的に声を掛け参加していただいている。                                   |                 |                                  |
| 74<br>(27) | <b>○身体拘束をしないケアの実践</b><br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び言葉や薬による拘束(スピーチロックやドラッグロック)を正しく理解しており、抑制や拘束のないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束を行わないという理念の下、全ての職員が研修等でそれらへの行為を理解している。                             | ○               | スピーチロック、ドラッグロックに関する研修を行う。        |
| 75<br>(28) | <b>○鍵をかけないケアの実践</b><br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。                                              | 日中は鍵をかけず、利用者が自由に出入りでき束縛されないケアを実践している。安全面に関してのリスク等もご家族と話し合い理解をいただいている。  |                 |                                  |
| 76         | <b>○利用者の安全確認</b><br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。                                                       | 本人のプライバシーに配慮した上で所在確認・見守りを行っている。                                        |                 |                                  |
| 77         | <b>○注意の必要な物品の保管・管理</b><br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。                                                 | はさみを持っている方もおられるが、マニュアルを作成し、保管場所・管理を取り決めている。                            |                 |                                  |
| 78<br>(29) | <b>○事故防止のための取り組み</b><br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。                                              | マニュアルを作成し事故防止に取り組み又、訓練も行っているがいざという時に対応できる様、定期的に訓練を実施したい。               | ○               | 事故防止に関する訓練の実施。                   |
| 79<br>(30) | <b>○急変や事故発生時の備え</b><br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。                                                        | マニュアルを作成しているが定期的に訓練は行えていない。                                            |                 |                                  |
| 80         | <b>○再発防止への取り組み</b><br>緊急事態が発生した場合や、発生の可能性が見られた時には、事故報告書や”ヒヤリはっと報告書”等をまとめるとともに、発生防止のための改善策を講じている。                            | ひやりはっと報告書の重要性をスタッフ全員が理解し、リスクマネジメント委員会で取り上げたり、ミーティングで発生防止のための改善案を講じている。 |                 |                                  |

| 項目                         |                                                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                       | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------|
| 81<br>(31)                 | <b>○災害対策</b><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。                          | 避難訓練を行い避難場所の確認や避難方法を職員が把握している。又、運営推進会議時に地域の方々と災害時に協力していただける様に働きかけている。 |                 |                                 |
| 82                         | <b>○リスク対応に関する家族等との話し合い</b><br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。                        | 本人が自分らしい生活を送っていただく為、それに伴うリスクをご家族に説明し、対応等話し合っている。                      |                 |                                 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |                                                                                                             |                                                                       |                 |                                 |
| 83                         | <b>○体調変化の早期発見と対応</b><br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。                                  | 体調に関して記事にも詳細に記録し情報が共有でき対応できるよう取り組んでいる。                                |                 |                                 |
| 84<br>(32)                 | <b>○服薬支援</b><br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めているとともに、必要な情報は医師や薬剤師にフィードバックしている。 | スタッフ一人ひとりが内服の管理に関わり目的・副作用・用法・用量について理解できるよう取り組んでいる。                    |                 |                                 |
| 85                         | <b>○便秘の予防と対応</b><br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。                                | 水分を多めに取っていただいたり、体を動かしていただいたりと便秘対策に取り組む必要な場合は、医師・御家族等と相談し、下剤の内服も行っている。 |                 |                                 |
| 86<br>(33)                 | <b>○口腔内の清潔保持</b><br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしているとともに、歯ブラシや義歯などの清掃、保管について支援している。             | 一人ひとりの力に応じて口腔ケアの実施を行っている。義歯の洗浄・保管についても入れ歯洗浄剤を使用し実施日・保管場所を取り決めて支援している。 |                 |                                 |
| 87<br>(34)                 | <b>○栄養摂取や水分確保の支援</b><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。                             | 本人が必要な量や水分を把握できる様、食事量をチェックし又、水分量の把握の必要な方もチェックを行っている。                  |                 |                                 |
| 88<br>(35)                 | <b>○感染症予防</b><br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。                                   | マニュアルを作成している。又、手洗いやうがい、消毒等も行っている。                                     |                 |                                 |
| 89                         | <b>○食材の管理</b><br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。                                  | マニュアルを作成し、それに準じた衛生管理を行っている。食品に関しても情報を得て安全に食材を選んで提供している。               |                 |                                 |

| 項目                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                             | ○印（取り組んでいきたい項目） | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                              |
|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------|
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり<br>(1) 居心地のよい環境づくり |                                                                                                                                             |                 |                                                               |
| 90                                         | ○ <b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b><br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。                                                       |                 | 玄関先は花に囲まれた親しみやすく、なじみやすい工夫がされている。                              |
| 91<br>(36)                                 | ○ <b>居心地のよい共用空間づくり</b><br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮するとともに、生活感や季節感など五感に働きかける様々な刺激を採り入れて、居心地よく・能動的に過ごせるような工夫をしている。 |                 | 木造の馴染みやすい空間の中、自然の光等も取り入れ五感に働きかける環境作りをしている。                    |
| 92                                         | ○ <b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b><br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。                                                       |                 | 多目的ホール、居間等開放し仲の良い方同士がゆっくり話をしたり一人ひとりの快い場所が作られている。              |
| 93<br>(37)                                 | ○ <b>居心地よく過ごせる居室の配慮</b><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。                                            |                 | 家庭にあった馴染みのある物を持ってきていただき本人が快適く過ごせる部屋作りをおこなっている。                |
| 94                                         | ○ <b>換気・空調の配慮</b><br>気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。                                                    |                 | 定期的に換気を行い玄関先に防臭効果のある炭をおくなどしている。又、利用者の状況に応じた温度調整を行っている。        |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり                    |                                                                                                                                             |                 |                                                               |
| 95                                         | ○ <b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b><br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送ることができるように工夫している。                                                       |                 | 自室・廊下に手すりが設置され又、階段には滑り止めが付いており自立した生活を生活を送っていただく上で安全面にも配慮している。 |
| 96                                         | ○ <b>わかる力を活かした環境づくり</b><br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。                                                                      |                 | 本人のわかる力や慣れ親しんだ生活など配慮しながら自室の環境を整えたり、混乱や失敗を招く要因がないか点検している。      |
| 97                                         | ○ <b>建物の外周や空間の活用</b><br>建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。                                                                                |                 | 外回りには花が植えられ、四季の花々を感じることが出来る。                                  |

| 項目             |                                                          | 取り組みの成果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                        |                              |
|----------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|------------------------------|
| ・サービスの成果に関する項目 |                                                          |                                                    |                              |
| 98             | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。                             | <div><div>ほぼ全ての利用者の<br/>利用者の1 / 3 くらいの</div></div> | 利用者の2 / 3 くらいの<br>ほとんど掴んでいない |
| 99             | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。                                | <div><div>毎日ある<br/>たまにある</div></div>               | 数日に1回程度ある<br>ほとんどない          |
| 100            | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。                                   | <div><div>ほぼ全ての利用者が<br/>利用者の1 / 3 くらいが</div></div> | 利用者の2 / 3 くらいが<br>ほとんどいない    |
| 101            | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている。                        | <div><div>ほぼ全ての利用者が<br/>利用者の1 / 3 くらいが</div></div> | 利用者の2 / 3 くらいが<br>ほとんどいない    |
| 102            | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。                                  | <div><div>ほぼ全ての利用者が<br/>利用者の1 / 3 くらいが</div></div> | 利用者の2 / 3 くらいが<br>ほとんどいない    |
| 103            | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。                            | <div><div>ほぼ全ての利用者が<br/>利用者の1 / 3 くらいが</div></div> | 利用者の2 / 3 くらいが<br>ほとんどいない    |
| 104            | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。                   | <div><div>ほぼ全ての利用者が<br/>利用者の1 / 3 くらいが</div></div> | 利用者の2 / 3 くらいが<br>ほとんどいない    |
| 105            | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。        | <div><div>ほぼ全ての家族等と<br/>家族の1 / 3 くらいと</div></div>  | 家族の2 / 3 くらいと<br>ほとんどできていない  |
| 106            | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。                        | <div><div>ほぼ毎日のように<br/>たまに</div></div>             | 数日に1回程度<br>ほとんどない            |
| 107            | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 | <div><div>大いに増えている<br/>あまり増えていない</div></div>       | 少しずつ増えている<br>全くいない           |
| 108            | 職員は、生き活きと働けている。                                          | <div><div>ほぼ全ての職員が<br/>職員の1 / 3 くらいが</div></div>   | 職員の2 / 3 くらいが<br>ほとんどいない     |
| 109            | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。                           | <div><div>ほぼ全ての利用者が<br/>利用者の1 / 3 くらいが</div></div> | 利用者の2 / 3 くらいが<br>ほとんどいない    |
| 110            | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。                       | <div><div>ほぼ全ての家族等が<br/>家族等の1 / 3 くらいが</div></div> | 家族等の2 / 3 くらいが<br>ほとんどできていない |